



代表取締役  
西谷裕子 ● Yuuko Nishitani

協力企業紹介⑩ 株式会社ペディキュール

生活の一部としての「フットケア」で  
女性のライフスタイルをバックアップ

株式会社ペディキュールは、女性専用のドイツ式フットケアサロン「フットブルー」の運営を行っています。1998年に横浜に1号店をオープン。現在は、横浜元町と南青山、計3店舗に展開しております。

女性だけのスタッフによる、女性客専用のフットケアサロンというスタイルは、全国的にもほとんど例がなく、お客様にゆつくりとくつろいでいただく空間づくりが喜ばれています。

フットケアが「生活の一部」として根付いているヨーロッパでは、予防ケアとして周知され、フットケアを行う習慣があることで、健康寿命を延ばすことにもつながっています。ドイツでは、母子手帳に「足の検診記録」のページがあるほどで、人々の足の健康への関心の高さが伺えます。

また、フットケアは職業としても確立されており、ヨーロッパでは約15万人の施術者が日々、ケアを行っています。そのうち80%以上が女性セラピストで、女性が長く活躍できるというのもこの職業の特長です。

それに比べ、日本では、社会的にも「フットケアサロン」の認知度はまだ低く、プロの施術者も10000人に満たないのが現状です。

多くの女性は「結婚」や「出産」「育児」「介護」といったライフスタイルの変化に直面します。

サロンのお客様には、フットケアを通じて、ライフスタイルの変化や年齢を重ねていくことで起こる心身のトラブルや不調を解決し、「自分の足で立つ」ことの手伝いさせて頂きたいと思っています。

女性が創業した企業といたしましては、女性ならではの視点を大切に、働く女性の自立を応援していきたいという想いがあります。

フットケアを通じて「女性が活躍する場」を提供し、女性だからこそ感じる「手に職（技術）」をもつことの素晴らしさを、多くの方々に伝えていきたいと思っています。そして、さらなる「生活の一部としてのフットケアの定着」を目指して事業に取り組んでまいります。

【サロンの特長】

ドイツ式フットケアサロン

「フットブルー」

www.footblue.co.jp

女性専用・予約優先

横浜店 045-333-1991

横浜元町店 045-3305-6654

南青山店 03-3470-6855

サロンのお客様は、10代から80代と幅広い層の方々にご利用頂いております。

年代や環境などにより、足のカサカサ、足爪が切れない、爪が巻いて痛い、魚の目・タコ等、抱える足のお悩みやトラブルは様々ですが、「足のトラブルを繰り返さない健康な足」をお客様とセラピストが二人三脚で創りあげていくことを目指しています。

足の裏にトラブルができる原因は、靴の履き方だけではなく、身体の不調が原因になっていることもあります。精神面の問題から引き起こされる場合もあります。

「足元からの健康美の追求」という施術コンセプトのもと、足元のケアだけでなく、心や身体のバランスをととのえる独自の全身管理法を通じて、心身共に健やかな身体作りを追求してまいります。

事務局より

NPO法人女性医療ネットワーク

神戸シンポジウム

「実践！あなたも今日から診れる女性の不定愁訴」

日時：2016年7月9日（土）13時開会  
場所：神戸市立医療センター中央市民病院  
参加費：1000円（ジョイ・ラボ会員無料）  
総合司会：油田裕美枝

キーノートスピーチ（13:10~14:00）

女性の健康特性とは？

NPO法人女性医療ネットワーク理事 対馬ルリ子

「女性のかかりつけ医」という在り方

月経困難症群の診療から学んだこと

京都大学医学部附属病院産科婦人科特定助教 江川美保先生

基調講演（14:00~15:00）

統合医療の現状と課題

日本統合医療学会（JIM）理事、医学博士 東京有明医療大学保健医療学部鍼灸学科教授 川嶋 朗先生

ゲスト・トーク（15:10~15:50）

生き方・暮らし方から女性の健康を診る！女性と自然治癒力と断捨離とは

断捨離実践者 やましたひでこ先生

（社）自然治癒力学校代表 おのころ心平先生

ファシリテーター 対馬ルリ子

司会：神戸市立医療センター中央市民病院産科婦人科 油田裕美枝

パネルディスカッション（15:50~16:20）  
パネラー：講演者全員+木内女性クリニック

会場：神戸市立医療センター中央市民病院産科婦人科 油田裕美枝

今後のシンポジウム

予定

9月4日（日）「美しき老後シンポジウム」

（会場：持田製薬本社）【四登】予定

11月12日（土）「連携シンポジウム」について

（会場：ザ・キャピトルホテル東急）予定

会員の皆さまへ  
2つのお願い

●総会について

これまで総会の対象者やその目的についてのご案内が不十分だったこともあり、ご参加いただけていない会員さまも多くいらっしゃいました。そこで、改めて総会のポイントをとめました。ご一読いただき来年春の総会には皆さまにご出席いただけますようお願い申し上げます。

総会は、年に1度の全会員を対象とした会議体です。

この会議では、

- ・前年の活動を振り返り、さらなる改善や活性化に向けた検討を重ねて当年度の事業計画を決定する。
- ・各事業の円滑な推進に向けて、「ヒト・モノ・カネ」などの活動資源を適切に配分する。
- ・といった当会の運営基盤について皆さまの意見を反映させることもとより、様々な分野の方々で構成される当会員相互の情報共有や連携を図る上でも、とても有益な場となります。

●会費について

当会の趣意にご賛同いただいた企業・法人より法人会費、協賛金等を頂戴していますが、活動の財源は、やはり会員の皆さまにお納めいただいている会費です。

会費の主な使途は、「シンポジウムや講演会における講師への謝礼、交通費といった教育事業」「ニュースレターやホームページの制作運営費といった普及啓発事業」「会員情報管理や事務所家賃等の管理費」ですが、教育事業内容の充実化や各イベントのネット配信等、会員の皆さまのニーズにお応えするためにも、会則に定められた納入をお願い申し上げます。

なお3年以上継続の方には「会費納入のお祝い」を同封させていただきました。恐縮ではございますが、ご協力、何卒よろしくお願ひいたします。